



北里大学同窓会栃木県支部

「Relay for Life Japan 2013 Tochigi」

2013年7月27日発行



北里大学同窓会栃木

栃木県支部ホームページのQRコードです。  
スマートフォンでのアクセスに利用下さい。

北里大学同窓会栃木県支部は  
「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2013 とちぎ  
in 宇都宮」  
24時間リレー・ウォークに今年も参加します  
皆さん、力を合わせて一緒に歩きましょう!!

北里大学同窓会栃木県支部  
支部長 滝 龍雄

関東地方は、例年よりも約2週間早く梅雨明けし、猛暑日が続いております。この高温は、私達にとっても健康上で大変な状況ですが、がん患者さんにとってはより一層深刻な問題です。

がんは特別な病気ではありません。私たちの誰もが経験する可能性のある病気です。がんになってから初めてがんを知るのではなく、がんをより身近なものとして考え、社会のがんに対する認識を変えていけるよう、がん患者の交流・がんについての情報交換・がんの予防や治療に関する啓発の場として「リレー・フォー・ライフ」が開催されます。

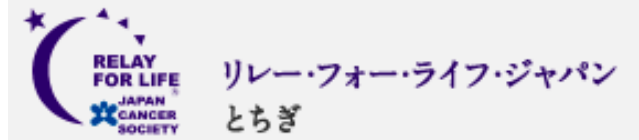
リレー・フォー・ライフは、仲間と歩きながら命の尊さを伝え分かち合う場です。ルミナリエは、一人一人の手で作りあげるものです。不安や孤独を感じながら再発の恐怖と闘う患者が朝目覚めた喜びを象徴する、夜明け前の空を一瞬染める紫色。ルミナリエの灯を囲みながら仲間と「紫の夜明け」を共有しませんか。

北里大学は、医学部、薬学部、看護学部、医療衛生学部、獣医学部、海洋生命科学部を持つ、私たちの健康の維持を目的にした大学です。そのような大学で学んだ私たちは、リレー・フォー・ライフの趣旨に賛同します。

さて、栃木県で昨年初めて開催された「リレー・フォー・ライフとちぎ」の24時間リレー・ウォークには、栃木県支部もチームを作って参加し、多くの方々のご協力ですべて無事完歩できました。

多くの会員の皆様と、がん患者の皆様を精神的、医学的サポートに少しでもお役に立てればと願っています。

城址公園で、私たちの心を一つに!!



チーム・リーダーよりのお誘い 岸 善明

リレー・ウォークは「がんは24時間眠らない」「患者は24時間がんと闘っている」というメッセージを込めて1985年に米国で始まったイベントです。日本では2006年に茨城県で開催され、今年も全国の多くの県で開催が予定されております。

当地に於きましても、がんを闘う方々の勇気を称え、がん患者や家族、友人と共に交代で城址公園内のコースを24時間歩き続け、ひと晩を通じて時間を共にしながら、がん征圧のための募金活動を行うチャリティイベント「リレー・フォー・ライフ2013 とちぎ in 宇都宮」(宇都宮における第2回目の開催)の開催が決まりました。北里大学同窓会栃木県支部はチームとして昨年に引き続き参加することとし、次のとおり行動計画を立てましたのでお知らせ致します。

昨年、参加頂いた方は今年も是非参加下さい。昨年参加して頂けなかった方には、今年こそは参加頂けますようお願い致します。

なお、参加申込み(問い合わせ)は行動計画に従いお願いします。

「リレー・フォー・ライフ2013 とちぎ in 宇都宮」  
北里大学同窓会栃木県支部チーム行動計画

開催日時：9月14日12時から15日12時

場所：宇都宮城址公園(昨年と同じ)

行動：「がん撲滅」への願いを込め、参加者が1時間ずつ交代しながら、城址公園内のコースを24時間歩き続ける。

参加申込み(問い合わせ)：締切り8月31日

滝 龍雄(支部長) [tatabox@kitasato-u.ac.jp](mailto:tatabox@kitasato-u.ac.jp)

携帯電話 090-6533-1555

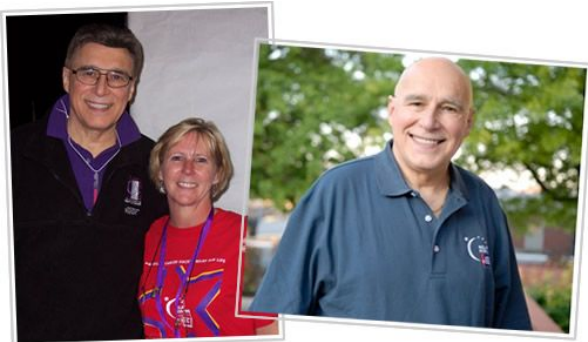
岸 善明(リーダー) [kishiy01@pref.tochigi.lg.jp](mailto:kishiy01@pref.tochigi.lg.jp)

齋藤けさよ(サブリーダー)

[kesayottchanika@docomo.ne.jp](mailto:kesayottchanika@docomo.ne.jp)

## 「リレー・フォー・ライフ」に関するアラカルト

- Q** : リレー・フォー・ライフ (Relay For Life) とは？  
**R** : アメリカがん協会が主催するチャリティーイベントで、がんについて啓発し、がん患者の勇気を称え、がん研究や患者支援の為に寄付を集めることが目的です。  
**Q** : Relay For Life は何時、誰が始めたのですか？  
**R** : アメリカ・ワシントン州タコマ市で開業する消化器外科医のクラット博士 (Gordy Klatt) が、アメリカがん協会タコマ支部のがんと戦う寄付金集めで、1985年5月に“City of Destiny Classic 24-Hour Run Against Cancer.”として開催しました。  
**Q** : 最初の Relay For Life はどうだったのですか？  
**R** : タコマ市のピューージェット大学ベイカー競技場のトラックで開催され、夜通しでクラット博士が 132km



(83 マイル) 以上歩き、27,000 ドルの寄付を集めました。この時はクラット博士が一人、又は友人と一緒に走ったり歩いたりし、友人がそれを見て寄付をしました。チーム参加形式は、翌年 1986 年からです。

(写真はイベントを始めた頃と現在のクラット博士)

- Q** : 創始者のクラット博士とはどんな方ですか？  
**R** : 現在 69 歳のクラット博士は、ミネソタ大学医学部を卒業後、3 年間、陸軍の外科医として従事しました。ミネソタ大学で外科医として研修後、35 年前にタコマ市で開業しました。昨年、母校であるの University of St. Thomas より、長年の功績を讃えて「博愛主義者賞(Humanitarian Award)」を贈呈されました。  
3 年前に自らも胃がんが見つかり、摘出手術と化学療法を行いました。体重も手術前の約 102 kg (230 ポンド) から、現在は約 78 kg (175 ポンド) に減りましたが、現在は元気です。  
ドイツ系の母親からドイツの民謡を教わり、伴奏のためにアコーディオンを演奏します。  
**Q** : 日本での Relay For Life はいつからですか？  
**R** : 公益財団法人日本対がん協会がアメリカがん協会の指導を受けて 2006 年茨城県つくば市で開催しました。  
**Q** : 栃木県での Relay For Life はいつからですか？  
**R** : 昨年 (2012 年) 県立がんセンターが中心となり、宇都宮城址公園を会場として第一回が盛大に開催されました。

- Q** : 北里大学同窓会栃木県支部は Relay For Life にいつから参加しているのですか？  
**R** : 昨年栃木県での第一回開催に、塚原訓子さんを隊長として参加しました。24 時間リレー・ウォークを完歩するため、多くの色々な方にご協力頂きました。  
**Q** : Relay For Life に参加するには、参加費等の諸経費が掛かりますが、費用はどうなるのですか？  
**R** : 医学部など医療系の多くの学部を持つ大学に学んだ卒業生としてこのようなイベントへ参加する事は、非常に意義のある事と思います。栃木県支部では出来るだけ多くの方に参加して頂きたいので、Relay For Life への参加に係る費用は支部の予算から支出します。  
**Q** : 24 時間リレー・ウォークは体力的に心配です。  
**R** : リレー・ウォークには車椅子で参加される方、がん患者さんも含め様々な方が参加します。チームとして 24 時間歩きますが、歩いている途中で適当に交代します。自分の体力に合わせ、5 分でも 10 分でも構いません。がん患者さんに寄り添うという気持ちが大切です。  
**Q** : Relay For Life はいつ、どこで開催されるのですか？  
**R** : 今年の栃木大会は、9 月 14 日 (土) 12 時から 15 日 (日) 12 時、宇都宮の宇都宮城址公園で開催されます。  
**Q** : Relay For Life では、どのような企画があるのですか？  
**R** : 24 時間リレー・ウォークの他に、「サバイバーズ・ラップ」、「ルミナリエ」、バンド演奏やゲーム、更には講演会など盛りだくさんです。会場では、各種病院や企業の協賛による展示や模擬店もあります。  
**Q** : 参加するとしたら、食事の心配もありますか？  
**R** : 夕食と朝食はチーム・リーダーを中心に、参加者が手分けして食事を手配します。食事代は各自負担ですが、食べられないという事はありません。  
**Q** : 雷雨や、暑さなど、天気の影響を受けませんか？  
**R** : 野外でのイベントなので、勿論、天気の影響を受けます。雨が降っても、24 時間リレー・ウォークは続けられますが、支部ではチームの休憩用にテントを準備します。雨天時の休憩や、日よけ、更には夜寝るときにも利用します。テントには判りやすいように北里大学の幟を立てます。  
**Q** : 当日はどのような服装ですか？  
**R** : 特に決まりはありませんが、歩きやすい服装と靴でお願いします。会場に泊る場合には、夜、寒くないような準備をして下さい。  
**Q** : 参加の申し込みはどうしたらよいのですか？  
**R** : 同封の葉書に参加する旨を記入して返信するか、このニュースの 1 ページ右下の連絡先にメールで申し込んで下さい。出来るなら 8 月一杯に返信して下さい。又、直前に予定が変わり参加できるようになりましたら、支部長 (090-6533-1555) まで連絡して下さい。  
(以上の情報は、日本対がん協会ホームページ、アメリカがん協会ホームページ、The News Tribune 2012 年 10 月 28 日号を参照しました。)